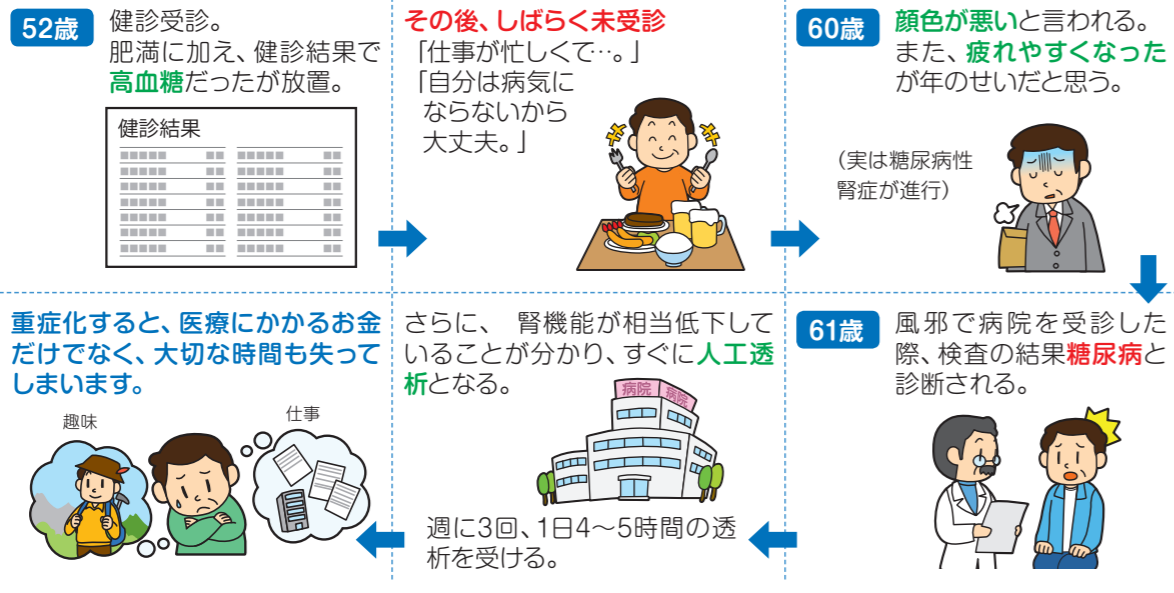


年に1度の特定健診で健康チェック 健診を受ける大事なチャンス、逃していませんか？

しばらく健診を受けていなかったAさんの場合 (61歳男性)

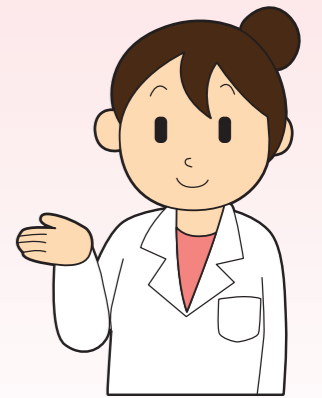


がん・骨粗しょう症・歯周疾患・肝炎・結核検診

これらの検診は **勤務先などで受診機会のない人** が対象です。受診券はありません。申し込みは、各健診実施医療機関 (8～19ページ) へ直接どうぞ！

検診の種類	どのような検査？
胃がん検診 (35歳以上)	①バリウムを飲んでレントゲン写真を撮る方法 ②胃カメラによる内視鏡検査 以上の2つから選択できます。
大腸がん検診 (40歳以上)	便を2日間採取し、出血の有無を確認する検査です。食事制限もなく簡単に受診できます。
子宮頸がん検診 (20歳以上女性)	2年に1回受診できます。 子宮の入り口にある細胞を採取してがん細胞の有無を調べます。
乳がん検診 (40歳以上女性)	2年に1回受診できます。 マンモグラフィ検査 (乳房をはさんでレントゲン写真を撮る) と視触診による検査です。
前立腺がん検診 (50歳以上男性)	前立腺から分泌されるタンパク質の一種であるPSAの値を血液検査で調べます。
骨粗しょう症検診 (30歳以上女性)	エックス線や超音波で骨の密度を調べます。
歯周疾患検診 (40歳以上)	口の中を診て、歯周ポケットなどを検査し歯周病の有無を確認します。
肝炎ウイルス検査 (過去に受けたことがない人)	血液検査でB型・C型肝炎ウイルスに感染していないかを調べます。 〈問合せ〉 保健所保健予防課 TEL 249-3172

内視鏡検査の結果、精密検査を引き続き実施したときの費用は保険診療になり、自己負担金とは別に追加費用が必要となります。



問合せ 健康づくり推進課 TEL 221-1579

受けていますか？がん検診



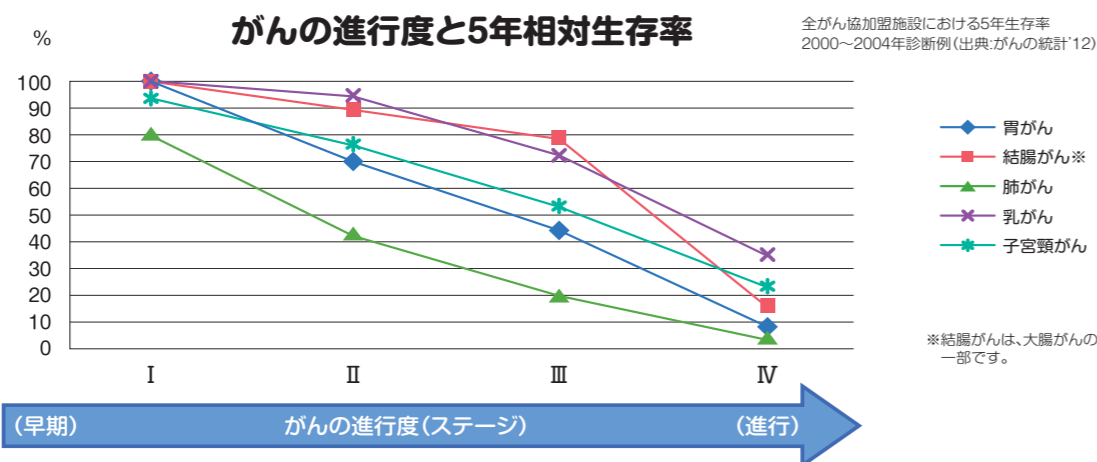
健康には自信があるから大丈夫。

男女ともに、おおよそ2人に1人が一生のうちのがんにかかると言われています。(出典:がんの統計'12) 食生活や運動など生活習慣の改善でがんが予防できますが、がんになるリスクをゼロにすることはできません！



見つかったら、怖いわ…。

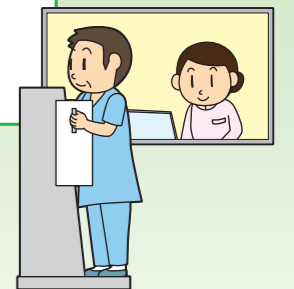
下のグラフで示すとおり、早期発見・早期治療で生存率は高まります。しかし、検診で「早期がん」のうちに発見できる時間はたった1～2年程度です。1年または2年に1回、定期的に検診を受けることが大事です。(胃・肺・大腸は1年、子宮頸部・乳は2年)



※65歳以上の方には結核・肺がん検診の受診票が送付されます。

40～64歳の方は身分を証明できるものを持参してください。検診は巡回検診車で、日時や場所は自治会・町内会を通じてご案内しています。直接会場へお越しください。

検診の種類	どのような検査？
結核・肺がん検診 (40歳以上)	胸部のレントゲン写真を撮ります。必要に応じて痰の検査を行います。



問合せ 保健所保健予防課 TEL 249-3172

*検診により、精密検査が必要となった場合、必ず精密検査を受けましょう。(保険診療扱いです。)
*検診はスクリーニング(ふるい分け)です。自覚症状など気になることがある場合は、検診日を待たずに早めに医療機関を受診しましょう。